

(滋賀県循環資源活用施設整備事業費補助事業)

滋 賀 バ ス 株 式 会 社

事業目的	市内循環コミュニティバス再生用使用済タイヤ保管庫の整備により、廃棄物となる「使用済タイヤ」を「再生タイヤ」としてリサイクル。 廃棄物の発生を抑制し、資源化を図る。														
事業概要	バス車両整備工場 バス車両タイヤ交換 後輪に再生タイヤ装着 → 再生用タイヤ保管庫 使用済タイヤ保管 再生タイヤ保管 → 再生タイヤ専門業者 使用済タイヤ再生 ← ←														
事業結果	○ 市内循環コミュニティバス50両→年間使用済タイヤ数量6本×50両＝300本 ○ 内再生用タイヤ保管数4本×50両＝200本(前輪2本は新品、後輪4本に再生タイヤを使用) 廃タイヤの発生抑制・資源化のための再生用タイヤ保管庫の整備、平成23年3月31日完了 <table><tr><td rowspan="2">廃棄物発生</td><td>平成22年度</td><td>新品タイヤ＝300本発生</td><td>(100%)</td></tr><tr><td>平成23年度</td><td>新品タイヤ＝103本に抑制</td><td>(34%)</td></tr><tr><td rowspan="2">資源化の効果</td><td>平成22年度</td><td>再生タイヤ＝ 0本</td><td>(0%)</td></tr><tr><td>平成23年度</td><td>再生タイヤ＝197本</td><td>(66%)</td></tr></table>	廃棄物発生	平成22年度	新品タイヤ＝300本発生	(100%)	平成23年度	新品タイヤ＝103本に抑制	(34%)	資源化の効果	平成22年度	再生タイヤ＝ 0本	(0%)	平成23年度	再生タイヤ＝197本	(66%)
廃棄物発生	平成22年度		新品タイヤ＝300本発生	(100%)											
	平成23年度	新品タイヤ＝103本に抑制	(34%)												
資源化の効果	平成22年度	再生タイヤ＝ 0本	(0%)												
	平成23年度	再生タイヤ＝197本	(66%)												
今後の課題	市内循環コミュニティバスは、生活路線を運行していることから、一般バスのように高速走行はありません。従って再生タイヤの活用は安全上何等問題なく、循環型社会の構築に資するもので、今後再生タイヤの使用実績を検証し、再生タイヤの使用を前輪に拡大し、より一層廃棄物のリサイクル・減量化の推進に努める。														